市町村名	南城市

平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－④	観光振興将来拠点地整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－（ウ） 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　企画室 土木建築部　施設整備課	事業実施（予定）年度	平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	市の中心地に公共駐車場を整備し、近隣施設やイベント等での来訪者の利便性の確保を図る。				
効果発現年度	□当年度　■後年度（31年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度（繰越）	29年度
予算の状況	(a) 当初予算額	228,655	－	354,000	－	
	(b) 予算現額	228,655	－	487,250	－	
	(c) 増減額 (b-a)	0	－	133,250	－	
	(d) 繰越額	－	181,622	－	367,703	
	A. 計 (b+d)	228,655	181,622	487,250	367,703	
B. 執行済額		47,033	176,751	119,547	363,741	
うち交付金充当額		37,626	141,401	95,637	290,193	
次年度繰越額		181,622	0	367,703	0	
執行率 （%） (B/A)		20.6%	97.3%	24.5%	98.9%	
予算の状況の説明	・事業効果の早期発現（供用開始）に向け、次年度予定していた駐車場工事の一部を前倒し実施するために増額した。 ・用地購入に当たり、相続関係の調査・調整に不測の日数を要したことから、工事の発注に遅れが生じたため繰越となった。 ・用地１筆の購入費については、繰越年度中に購入できなかったため3,962千円が不用額となった。					

活動目標（指標）及び達成状況

H28活動目標（指標）		達成状況 27年度	28年度	29年度	30年度
観光拠点地用地取得：5,655㎡	目　標	（用地取得 31,797㎡）	（用地取得 5,655㎡）	（　）	（　）
	実　績	用地取得 32,551㎡	用地取得 670㎡		
第１期造成工事	目　標	（　）	（第１期造成工事の実施）	（　）	（　）
	実　績		第１期造成工事の実施		

達成状況説明

・用地取得について、事業実施当初の平成25年度において、取得計画総面積を71,719㎡とし、平成28年度の取得計画を5,655㎡と見込み設定をした。用地取得を進めた結果、土地所有者の同意を得ることが困難な事例が生じ、平成27年度迄の間に4,419㎡分が未取得となったことから、平成29年3月に、取得計画総面積を当初の71,719㎡から68,054㎡へと見直し、計画面積を変更した。平成28年度においては670㎡を取得し、取得済総面積は67,488㎡となった。よって活動目標については、事業開始当初に設定した指標のとおりとなるが、取得計画総面積に対する取得率は99.16%となることから、活動目標は概ね達成できていると考えている。
・第１期造成工事については、用地取得に不測の日数を要したことから工事の発注に遅れが生じたため繰越となり、平成30年3月27日の完了となった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H28成果目標（指標）		基準値（　年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（31年度）
用地取得業務の完了（最終年度）	目　標	（　）	（完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		未完了 未購入一筆あり			
第１期造成工事の完了	目　標	（　）	（完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		完了			
【H31成果目標】 駐車場利用者の利便性が確保された（80%以上）を含め、アンケート調査により当該駐車場のあり方について検証する。	目　標					80%以上

進捗状況説明

・用地取得については、土地所有者が死亡しており相続人が外国に居住している一筆が購入出来なかった。
・第１期造成工事については、平成30年3月27日に完了することが出来た。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（用地取得業務の完了） ・土地所有者が死亡しており相続人が外国に居住している土地が一筆あり、相続の手続きに想定以上の日数を要したため、繰越後においても事業用地の取得が完了しなかった。 （第１期造成工事の完了） ・用地取得の遅れにより繰越となったが、繰越後は概ね計画どおりに完了した。	（用地取得業務の完了） ・外国に居住している相続人との間には仲介人がおり、相続人は譲渡の意思があることが確認できていることから、引き続き仲介人と連絡を取り合って手続きを進めていく。 （第１期造成工事の完了） ・残り一筆の用地取得手続きと平行して、同地に係る工事の施工同意による着手を検討する。

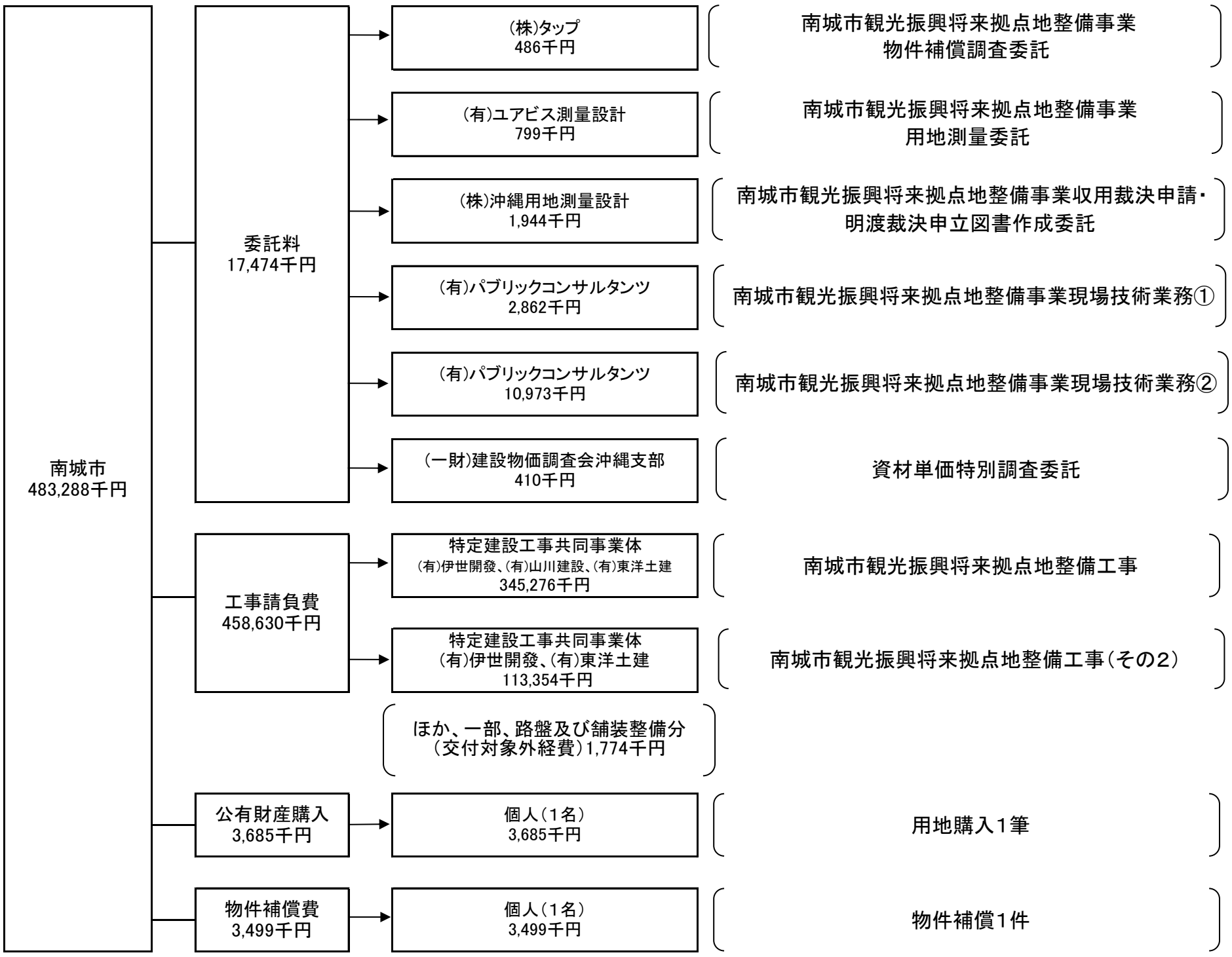
今後の取り組み方針

（用地取得業務の完了）
・繰越年度中に購入出来なかった事業用地一筆について、仲介人との連絡を密にし、できるだけ速やかな購入ができるよう手続きを進めていく。

（第１期造成工事の完了）
・平成31年度完成に向けて、未買収地の相続人代表者2名の施工同意を受け計画的に工事の進捗を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
485,062	483,288	385,830	97,458	1,774



資金の流れ、費目・使途の点検評価

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託行者及び工事請負業者等は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○用地購入費で3,962千円の不用額が出たが、当初予定していた事業内容は概ね実施しており、適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	